

第7回

# 日本ポジティブサイコロジ 医学会 学術集会

プログラム・抄録集

## ネガティブ思考の中から考える ポジティブサイコロジ

会期 2018年 11月10日(土)

会場 電気ビルみらいホール  
(福岡県福岡市)

会長 徳永 雄一郎 医療法人社団 新光会  
不知火病院 理事長

第7回

# 日本ポジティブサイコロジ 医学会 学術集会

プログラム・抄録集

## ネガティブ思考の中から考える ポジティブサイコロジ

会期 2018年 11月10日(土)

会場 電気ビルみらいホール  
(福岡県福岡市)

会長 徳永 雄一郎 医療法人社団 新光会  
不知火病院 理事長

# INDEX

---

ご挨拶 ..... 1

参加者へのご案内 ..... 2

講演者・ポスター演者へのご案内 ..... 4

会場案内図 ..... 6

日 程 表 ..... 7

プログラム ..... 8

## 抄 録

教育講演 ..... 15

特別講演 ..... 16

ランチョンセミナー ..... 17

シンポジウム1 ..... 18

シンポジウム2 ..... 22

太古の知恵で  
心をしずめる体験セミナー ..... 28

会長講演 ..... 29

イブニングセミナー ..... 30

ポスタービューイング ..... 33

## 入会案内

入会申込書 ..... 51

会 則 ..... 52

## 第7回日本ポジティブサイコロジー医学会 学術集会

### ご 挨拶



会 長 徳永 雄一郎

医療法人新光会 不知火病院 理事長

本日は『第7回日本ポジティブサイコロジー医学会学術集会』にご参加頂き、誠にありがとうございます。

2012年7月1日に設立された『日本ポジティブサイコロジー医学会』は、今回で7回目を迎えました。第1回は、2011年3月の東日本大震災から1年5ヶ月後に、福島県郡山市において佐久間啓先生のもとで開催されました。その後本会では、ポジティブネスと健康について精神科の医師はもとより、各科の医師や学問分野を超えた研究に取り組んで参りました。

今回主催します不知火病院は1989年うつ病治療専門病棟を立ち上げ、今日まで取り組んできました。入院者の過半数にポジティブの対極にある自殺願望があります。そのなかで見えてきたものは、幼児期から続いている感情を抑えてきた生活史でした。その結果治療では、“抑圧されている自己感情への気づき”や“感情を表出しながら相手との関係性を保つ努力”が求められることになりました。さらに、変化がおこる前提として安心感が必要なこともわかってきましたが若年層ほどその傾向が強くなってきています。うつ病のネガティブ思考にはこのような心理が動いていました。本学会のテーマであるポジティブな思考には、このような理解と変化をおこす治療過程が必要であることにもなります。

医療現場から見えてきたこのような事実は、職場や教育現場、ひいては家庭まで、応用可能と考えています。本大会では学会の目的に沿って、学問分野を超えて、ポジティブネスと健康を学び合える実り多い学術集会になるよう各専門分野の先生方にお越しいただきました。専門分野を超えて、目指すべきポジティブティを学び、深められることを強く期待しております。

また11月の博多は、魚が一段と美味しくなる季節です。ぜひ博多の夜もお楽しみください。

# 参加者へのご案内

## 参加受付

### (1) 参加費

登録区分	大会参加費		懇親会参加費
	事前登録	当日登録	事前申込・当日申込ともに
会 員	8,000円	9,000円	8,500円
非 会 員	12,000円	13,000円	
学 生	2,000円	2,000円	

※大会参加費には、プログラム抄録集代(当日配布)を含みます。

※学会ホームページから「事前登録」が可能です。

※学生申込みの場合、大会受付時に学生証のご提示が必要となります。

### (2) プログラム抄録集

1部 1,000円

※プログラム抄録集は、第7回学術集会参加者に当日受付で配布します。

事前送付は行いませんので、ご了承ください。

### (3) 認定単位

日本抗加齢医学会認定単位 2単位(受験用・更新用)

日本医師会認定産業医研修 3単位

### (4) 受付時間・場所

11月10日(土)

時 間：9:30～17:40

場 所：福岡電気ビル 共創館4階

### (5) 受付方法

〈当日登録の方〉

受付にて「参加申込書」をご記入いただき、参加費を現金でお支払いの上、「参加証」と「プログラム抄録集」をお受け取りください。

〈事前登録の方〉

受付時、ご登録頂いたお名前を受付スタッフにお伝え頂き、「参加証」と「プログラム抄録集」をお受け取りください。

### (6) その他

会期中は、「参加証」を必ずご着用ください。

## 「太古の知恵で心をしずめる体験セミナー」について

本セミナーは、定員20名、先着順での受付です。受講希望の方は、直接、セミナー会場にお越しください。

### 懇親会

期 日：11月10日(土) 18:00～19:30

会 場：レストラン カステリアンルーム／ホテルニューオータニ博多

会 費：8,500円

### 会場でのお願い

- (1) 講演会場内での録音、写真およびビデオ撮影は、禁止されておりますのでご遠慮ください。
- (2) 講演(ポスター)会場内での携帯電話・スマートフォン等については、予めマナーモードにさせていただくか電源をお切りください。

### クローク

福岡電気ビル 共創館4階 エレベーター横にクロークを設置致します。

設置時間：9:00～18:00

大型荷物のみお預かり致します。貴重品・傘のお預けはご遠慮ください。

## 講演者・ポスター演者へのご案内

### 発表方法（講演者）

- 1) PCでの発表のみとさせていただきます。発表データは「Microsoft PowerPoint」で作成し、「PC本体」または「USBメモリ」をご持参ください。なお、Macintoshでデータを作成された場合、動画のあるプレゼンテーションを行う場合は、PC本体をお持込みください。
- 2) 必ず、ウイルス定義データを最新のものに更新した状態のセキュリティーソフトで、データがウイルス感染していないことを確認した上でデータをお持込みください。
- 3) 講演予定時間の30分前までに共創館4階にあるPC受付にて発表データ・PCの試写を行ってください。
- 4) 学会会場内でプリントアウトはできません。必要な場合は各自でご準備ください。
- 5) 「PC本体」のお持込、「USBメモリ」のお持込、いずれの場合も**必ず他メディアにてバックアップ**をご準備ください。

### PC本体をご持参される方

- 1) ACアダプターは必ずご用意ください。
- 2) 会場で用意するPCケーブルコネクタの形状は、Mini D-sub15ピンです。この形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご自身でお持ちください。
- 3) ノートPCから外部モニターに正しく出力されるか、事前に確認をしてください。
- 4) スクリーンセーバーや省電力設定、起動時パスワードを解除しておいてください。
- 5) 動画・音声をご使用の場合は、実際にお持込いただくPCで再生できることを事前に必ずご確認ください。音声の使用がある際、オペレーターにその旨をお伝えください。

### USBメモリをご持参される方

- 1) 本学会で使用するPC環境は「OS：Windows 10」です。必ず作成したPC以外で事前チェックをしてください。
- 2) 文字化けを防ぐため、日本語フォントはMSゴシック・MSPゴシック・MS明朝・MSP明朝、英語フォントはCentury・Century Gothic・Arial・Times New Romanをご利用ください。

## ポスター発表演者

### 1) 事前の発表データ作成について

1. 演題名、氏名、所属貼付部分寸法：縦20cm、横70cm
2. 本文(ポスター)貼付部分寸法：縦153cm、横90cm

### 2) ポスター貼付時間

11月10日(土) 9:30～13:30

### 3) ポスター会場内の展示パネルに、演題番号を確認の上、貼付してください。

### 4) 演者用リボン、貼付のための画鋏、テープ、演題番号は事務局で用意します。

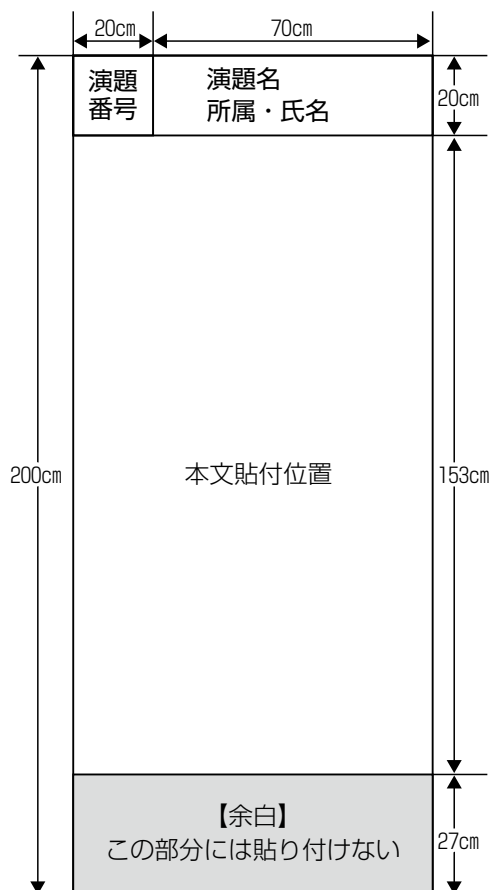
### 5) 発表日時

11月10日(土) 14:00～14:30

### 6) ポスター撤去時間

11月10日(土) 15:20～16:00

※撤去時間を過ぎても掲示してあるポスターは、事務局にて撤去処分いたしますのであらかじめご了承ください。

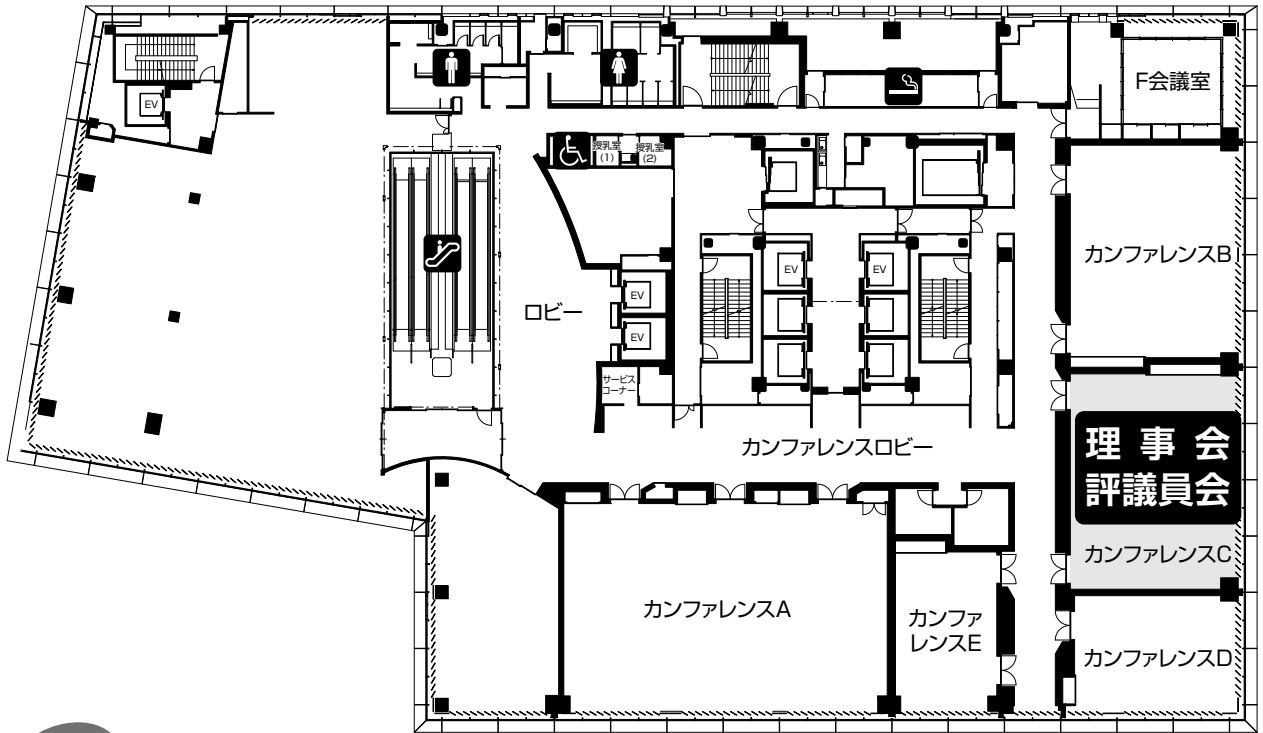




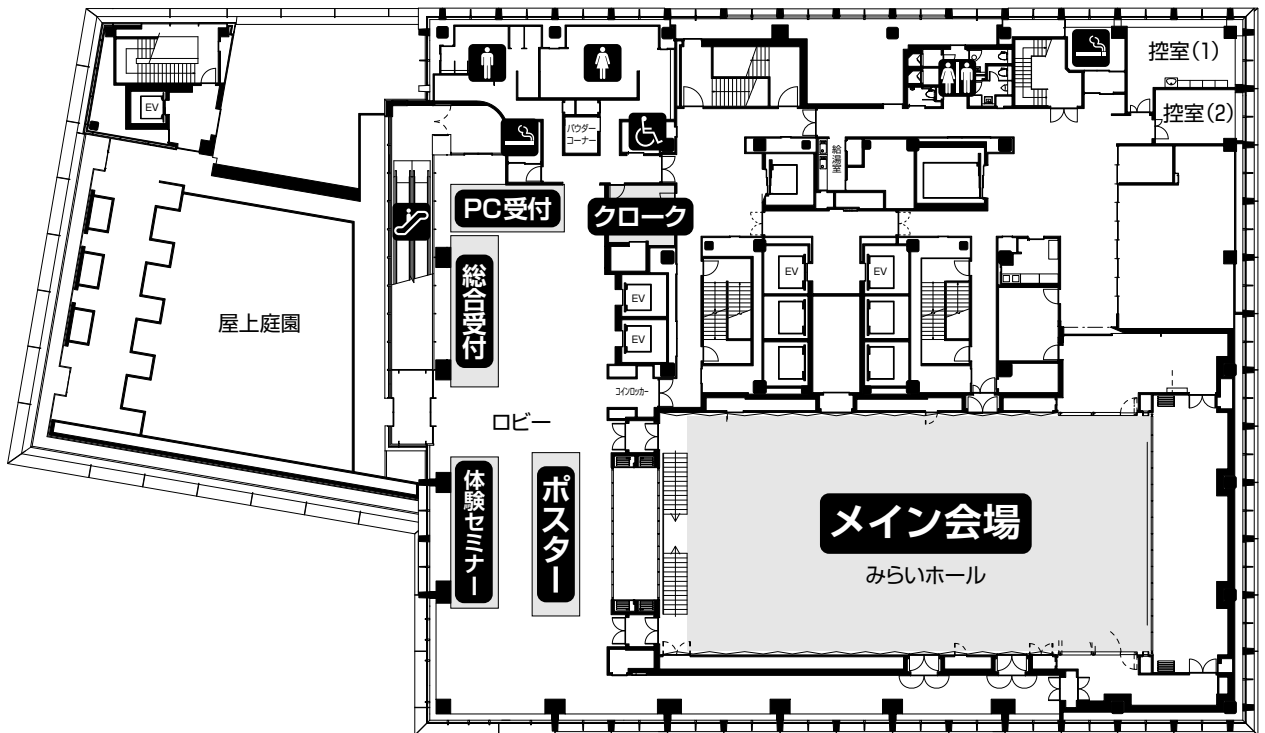
# 会場案内図

電気ビル 共創館 / みらいホール

3F



4F



# 日 程 表

	4F みらいホール	4F みらいホールホワイエ	3F カンファレンスC
9:00			9:00～9:30 理事会
9:30～	<b>開 場 (受付開始)</b>	9:30～13:30  <b>ポスター掲示</b>	
9:50～10:00	<b>開会挨拶</b> 理事長:大野 裕、会長:徳永雄一郎		
10:00～11:00	<b>教育講演</b> Well-Being Studyと Positive Psychologyの研究動向 演者:前野 隆司 座長:三村 将		
11:00～11:50	<b>特別講演</b> こころを元気にする4つのステップ 演者:大野 裕 座長:小林 正弥		
12:00			
12:00～13:00	<b>ランチョンセミナー</b> うつ病患者の社会機能の回復を目指すには? ～不安とポジティブサイコロジー～ 演者:大坪 天平 座長:松下 満彦 共催:持田製薬株式会社		12:00～12:30 評議員会
13:00～14:00	<b>シンポジウム 1</b> 笑いとメンタルヘルス 座長:佐久間 啓 シンポジスト:大平 哲也、市来 真彦、成瀬 麻夕		
14:00		14:00～14:30 <b>ポスタービューイング</b>	
14:30～16:00	<b>シンポジウム 2</b> 集団から生まれるネガティブ思考と ポジティブ思考をいかに活用すべきか 座長:松下 満彦、永井 宏 シンポジスト:今村 明、田中 理香、 島松 まゆみ、衛藤 暢明、 尾池 千賀子	14:30～15:20 <b>太古の知恵で心をしずめる体験セミナー</b> 講師:田端 瞳 定員:20名(先着順)	太古の人々が伝える「人生最大のポジティブ」について ～ヨガとアーユルヴェーダの知恵を使ったアプローチ～
15:00		15:20～16:00 <b>ポスター撤去</b>	
16:00～16:30	<b>会長講演</b> ネガティブ性の克服から考えるポジティブサイコロジー 演者:徳永 雄一郎 座長:須賀 英道		
16:30～17:30	<b>イブニングセミナー</b> 神功皇后はどのようにうつを乗り越えたか? 演者:田中 理香 座長:島松 まゆみ 共催:大塚製薬株式会社		
17:00			
17:30～17:40	<b>閉会挨拶</b> 副理事長:坪田 一男		
18:00	18:00～19:30 <b>懇 親 会</b> 会場:ホテルニューオオタニ博多 カステリアンルーム		

# プログラム

2018年11月10日 電気ビルみらいホール

9:00～9:30 **理事会** 3F カンファレンス C

9:50～10:00 **開会挨拶** 4F みらいホール

理事長：大野 裕 (大野研究所)

会長：徳永 雄一郎 (医療法人新光会 不知火病院 理事長)

10:00～11:00 **教育講演** (60分) 4F みらいホール

座長：三村 将 (慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 教授)

## Well-Being Study と Positive Psychology の研究動向

前野 隆司 (慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 研究家委員長・教授)

11:00～11:50 **特別講演** (50分) 4F みらいホール

座長：小林 正弥 (千葉大学大学院社会科学研究院 教授)

## こころを元気にする4つのステップ

大野 裕 (大野研究所)

12:00～13:00 **ランチョンセミナー** (60分) 4F みらいホール

座長：松下 満彦 (医療法人新光会 不知火病院 院長)

## うつ病患者の社会機能の回復を目指すには？ ～不安とポジティブサイコロジー～

大坪 天平 (東京女子医科大学東医療センター 精神科 部長・臨床教授)

共催：持田製薬株式会社

12:00～12:30 **評議員会** (30分) 3F カンファレンス C

[ 笑い と メンタルヘルス ]

**S1-1** 心とからだを癒す笑いの効果

○大平 哲也

福島県立医科大学 医学部 疫学講座 教授

**S1-2** 病気があっても元気で生きる！

～医療保健領域におけるポジティブ思考の実践例～

○市来 真彦

東京医科大学 精神医学分野 准教授

**S1-3** 笑いに関連する心理学的要因の検討 —ネットワーク解析を用いた検討—

○成瀬 麻夕

東京医科大学 精神医学分野 臨床心理士

[ 集団から生まれるネガティブ思考とポジティブ思考をいかに活用すべきか ]

**S2-1** 発達症(発達障害)の「強み」を活かす

○今村 明

長崎大学病院 地域連携児童思春期精神医学診療部

**S2-2** うつ病回復プロセスとエネルギーフロー

○田中 理香

スタジオリカクリニック

**S2-3** うつ病入院治療におけるポジティブサイコロジーの役割と位置づけ

○島松 まゆみ

医療法人新光会 不知火病院 医局長 海の病棟医長

**S2-4** 治療過程における自殺未遂患者の家族・支援者とのあり様の変化

○衛藤 暢明

福岡大学 医学部 精神医学教室 講師

## S2-5 ストレスチェックとポジティブメンタルヘルス ～集団分析結果を効果的に活用する～

○尾池 千賀子

熊本産業保健総合支援センター 産業保健専門職 労働衛生コンサルタント

14:30～15:20 **太古の知恵で心をしずめる体験セミナー**(50分)

4F みらいホールホワイエ

### 「太古の人々が伝える「人生最大のポジティブ」について ～ヨガとアーユルヴェーダの知恵を使ったアプローチ～

田端 瞳(医療法人新光会 不知火病院 アーユルヴェーダ医師(インド政府認定)、保健師)

定員：20名(先着順)

16:00～16:30 **会長講演**(30分)

4F みらいホール

座長：須賀 英道(龍谷大学保健管理センター 教授)

### ネガティブ性の克服から考えるポジティブサイコロジ

徳永 雄一郎(医療法人新光会 不知火病院 理事長)

16:30～17:30 **イブニングセミナー**(60分)

4F みらいホール

座長：島松 まゆみ(医療法人新光会 不知火病院 医局長 海の病棟医長)

### 神功皇后はどのようにうつを乗り越えたか？

田中 理香(スタジオオリカクリニック)

共催：大塚製薬株式会社

17:30～17:40 **閉会挨拶**

4F みらいホール

副理事長：坪田 一男(慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授)

18:00～19:30 **懇親会**

ホテルニューオオタニ博多 カステリアンルーム

**P-01** 親子関係のタイプによる若年健常者のレジリエンスの差

○松平 泉<sup>1)2)</sup>、竹内 光<sup>3)</sup>、川島 隆太<sup>4)</sup>、瀧 靖之<sup>5)</sup>

- 1) 東北大学大学院医学系研究科 加齢医学研究所 機能画像医学研究分野、2) 日本学術振興会、  
3) 東北大学加齢医学研究所 認知機能発達寄付研究部門、  
4) 東北大学加齢医学研究所 応用脳科学研究分野、  
5) 東北大学加齢医学研究所 スマートエイジング学際重点研究センター

**P-02** ポジティブサイコロジーの実践介入を試みて

～自分の強みを知る事での心の変化と看護への影響～

○山下 里香、篠田 千恵、行武 亜由子、原 恭美、後藤 玲央、島松 まゆみ、  
松下 満彦

医療法人 新光会 不知火病院 看護部 海の病棟

**P-03** スポーツ活動と創作活動の作業分析の比較による  
ポジティブ感情についての考察

○山本 久美子、坂本 美由季、荒木 健介、行武 亜由子、後藤 玲央、  
島松 まゆみ、松下 満彦

医療法人新光会 不知火病院

**P-04** 大学生を対象としたストレスマインドセットに関する心理教育の試み

○加藤 理絵

ヤマザキ動物看護大学

**P-05** 医療系大学生の well-being を促進する心理教育

○樋口 倫子<sup>1)</sup>、杉浦 雄策<sup>1)</sup>、稲場 夢有<sup>2)</sup>

1) 明海大学、2) NPO 法人 ユースハート

**P-06** ポジティブサイコロジー手法を用いた心理面接事例の報告

○坂本 美由季、杉本 浩利、荒木 健介、山本 久美子、行武 亜由子、  
後藤 玲央、島松 まゆみ、松下 満彦

医療法人新光会 不知火病院

**P-07** 高齢者におけるポジティブな写真鑑賞プログラムの  
気分改善持続効果に関する検討

○石原 眞澄

国立長寿医療研究センター

**P-08** 大学生の Well-being を促す運動習慣

○稲場 夢有<sup>1)</sup>、樋口 倫子<sup>2)</sup>、杉浦 雄策<sup>3)</sup>

1) 特定非営利活動法人ユースハート、2) 明海大学 外国語学部、3) 明海大学 不動産学部

- P-09** 気分障害患者における職場介入・復職支援についての考察  
～仲介に伴う自他評価不一致の認知再構成～
- 荒木 健介、坂本 美由季、山本 久美子、行武 亜由子、後藤 玲央、  
島松 まゆみ、松下 満彦  
医療法人新光会 不知火病院
- P-10** 地域生活する超高齢者におけるレジリエンスと心理社会的因子との関連：  
Arakawa 85+ Study
- 喜田 恒<sup>1)</sup>、新村 秀人<sup>1)</sup>、江口 洋子<sup>1)</sup>、喜多島 知穂<sup>2)</sup>、鈴木 航太<sup>1)</sup>、  
高山 緑<sup>3)</sup>、三村 将<sup>1)</sup>
- 1) 慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室、  
2) 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科、  
3) 慶應義塾大学理工学部 外国語・総合教育教室
- P-11** 健康生成モデルにおいて人間としての長所と首尾一貫感が  
ストレス反応に及ぼす影響 その1 一媒介効果と調整効果一
- 今井田 貴裕<sup>1)</sup>、福井 義一<sup>2)</sup>
- 1) 甲南大学大学院 人文科学研究科、2) 甲南大学
- P-12** 健康生成モデルにおいて人間としての長所と首尾一貫感が  
ストレス反応に及ぼす影響 その2 ークラスタ分析を用いて一
- 今井田 貴裕<sup>1)</sup>、福井 義一<sup>2)</sup>
- 1) 甲南大学大学院 人文科学研究科、2) 甲南大学
- P-13** 介護現場を楽しく幸せにするシステムデザイン
- 栗原 志功<sup>1)2)</sup>、秋山 美紀<sup>1)2)3)</sup>、前野 隆司<sup>1)2)</sup>、指田 睦生<sup>2)</sup>、横田 正司<sup>4)</sup>
- 1) 慶應義塾大学 大学院 システムデザイン・マネジメント研究科、  
2) 一般社団法人健康フラ・介護フラ協会、3) 東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科、  
4) 北海道大学病院 スポーツ医学診療センター
- P-14** 保育士のワーク・エンゲイジメントを高めるためのポジティブ介入
- 荒木 友希子  
金沢大学 人間科学系
- P-15** 予防医学と生産性向上のための、職場における  
日本語版心理的安全性尺度作成に関する予備実験
- 石井 遼介<sup>1)2)3)4)</sup>、志村 祥瑚<sup>2)</sup>
- 1) 慶應義塾大学 システムデザインマネジメント研究科 ヒューマンラボ、  
2) 一般社団法人 日本認知科学研究所、  
3) National University of Singapore, Business School、4) ZenTech, Inc.
- P-16** Acceptance and Commitment Therapy (ACT) に基づく視点取りを元にした  
健常者の鬱度減弱をもたらす簡易高速なセルフヘルプ法の研究
- 志村 祥瑚<sup>1)</sup>、石井 遼介<sup>2)3)</sup>
- 1) 一般社団法人 日本認知科学研究所、  
2) 慶應義塾大学 システムデザインマネジメント研究科 ヒューマンラボ、  
3) National University of Singapore, Business School

# 抄 録

教育講演

特別講演

ランチョンセミナー

シンポジウム1

シンポジウム2

太古の知恵で心をしずめる体験セミナー

会長講演

イブニングセミナー



## Well-Being Study と Positive Psychology の 研究動向

前野 隆司

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 研究家委員長・教授

---

抄録では、Well-Being Study と Positive Psychology の関係について所感を述べたい。

Well-being を辞書で引くと、健康、幸福、福祉などの訳が出てくる。大雑把に言って、医師は健康と訳し、心理学者は幸福と訳す。本講演では後者を指すこととする。例えば日本心理学会に行くと、数多くの well-being (幸せ) 研究が行われている。近年では、経済学、経営学、人工知能など、様々な分野において、幸せという意味での well-being 研究が行われるようになってきた。

現代の実証心理学者は Positive Psychology をやや特殊な分野と見ている感がある。私も、確かに独特な発展を遂げて来た分野だとは思いますが、セリグマン教授が主張する PERMA はよくできていると思う。P は pleasant (or positive) emotion。SWB (主観的幸福) ないしは古代ギリシャのヘドニア (快樂追求的な幸せ) に対応している。E はエンゲージメントないしはフロー。幸せかどうかを主観的には感じないほどの没入状態を表す。R (relationship) は関係性、M (meaning) は人生の意味、A は達成 (accomplishment) とそのための努力・成長。R、M、A は古代ギリシャのユーダイモニアに対応していて、PWB (psychological well-being) とも呼ばれる。つまり、PERMA のうちうしろの4つは、心理学者が一般に行うような主観的幸福に関するアンケートでは聞き出しにくいものも含んでいるということである。これを、心理学から見て邪道と批判するか、幸せの全体を含んでいると見るかは、それぞれの研究者・実践者の判断に委ねられているといえよう。

講演では、Well-Being Study と Positive Psychology の研究動向について述べる予定である。

# 抄 録

ポスタービューイング

**P-01 親子関係のタイプによる若年健常者のレジリエンスの差**

○松平 泉<sup>1)2)</sup>、竹内 光<sup>3)</sup>、川島 隆太<sup>4)</sup>、瀧 靖之<sup>5)</sup>

1) 東北大学大学院医学系研究科 加齢医学研究所 機能画像医学研究分野

2) 日本学術振興会

3) 東北大学加齢医学研究所 認知機能発達寄付研究部門

4) 東北大学加齢医学研究所 応用脳科学研究分野

5) 東北大学加齢医学研究所 スマートエイジング学際重点研究センター

逆境を克服する能力であるレジリエンスの遺伝率は約50%と推定されており、その形成における環境要因の重要性が指摘されている (Amstadter et al., 2014)。特に、親子の関係性が個人のレジリエンスに影響することが報告されている。しかし、どのような親子関係がより高いレジリエンスを導くかは明らかでない。そこで本研究は、子どものレジリエンスを高める親子関係について示唆を得ることを目的とし、18～27歳の健常者228名(男性129名・女性99名)を対象に親子関係のタイプ間でレジリエンスの比較を行った。

親子関係の評価にはFDT 親子関係診断検査(以下、FDT)を用いた(東ら, 2002)。FDTは、親に愛されていない感覚・自ら親を避ける傾向・親の干渉性・しつけの厳しさ・両親間の不和・親からの期待・親に愛されている感覚・親への愛着、という親子関係の8側面を子ども側が評価する尺度である。本研究では母との関係について評価したデータを使用した。レジリエンスの評価には「生きる力」質問紙を使用した(Sugiura et al., 2015)。

FDTの回答のZ得点を非階層的クラスター分析によって分類した。その結果、干渉性・しつけの厳しさ・親に愛されている感覚・親への愛着が高いタイプ1、親に愛されている感覚・親への愛着のみが他の因子より高いタイプ2、親に愛されていない感覚・自ら親を避ける傾向が極端に高いタイプ3、そして全ての因子が平均的な値を示すタイプ4が得られた。一元配置分散分析によって4タイプ間のレジリエンス(「生きる力」質問紙の総得点)を比較したところ、群間に有意差が見られた( $F=5.11$ ,  $df=3$ ,  $p=0.002$ )。Tukeyの検定による多重比較の結果、タイプ1がタイプ3よりも有意に高いレジリエンスを持つことが明らかとなった( $p=0.001$ )。

以上の結果から、厳しさや過保護さと愛情のバランスの取れた母子関係が、子どものレジリエンスを高める上で効果的である可能性が示唆された。

# 入会案内

# 日本ポジティブサイコロジ入会申込書

◆年会費 4,000円(会計年度:4月1日~翌年3月31日)

◆入会資格 本会の会員は本会の目的へ賛同する各科専門医ならびに研究者

必要事項をご記入の上、FAX(03-5775-2076)にてお申し込みください。

学会ホームページ(<http://jphp.jp>)からはオンラインでお申し込みが可能です。

フリガナ				生年月日			
お名前				西暦	年	月	日
First Name (名)				Last Name (姓)			
職業							
所属施設 (勤務先)							
所属科・部署							
役職							
ご連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先    ※どちらかにチェックを入れてください。						
	住所 〒						
	TEL			FAX			
	E-mail						
専門分野 医師、歯科医師、 医療従事者のみ	▼医師・歯科医師(基本分野)						
	<input type="checkbox"/> 内科系 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 眼科 <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科 <input type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 心臓外科 <input type="checkbox"/> 形成・美容外科 <input type="checkbox"/> 小児科 <input type="checkbox"/> 産婦人科 <input type="checkbox"/> 泌尿器科 <input type="checkbox"/> リハビリテーション科 <input type="checkbox"/> 放射線科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 精神・神経科 <input type="checkbox"/> 東洋医学 <input type="checkbox"/> 病理科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 基礎系医学 <input type="checkbox"/> 口腔・歯科 <input type="checkbox"/> その他( )						
	▼医療従事者(専門)						
	<input type="checkbox"/> 薬剤師 <input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 助産師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 准看護師 <input type="checkbox"/> 診療放射線技師 <input type="checkbox"/> 臨床検査技師 <input type="checkbox"/> 臨床工学技師 <input type="checkbox"/> 衛生検査技師 <input type="checkbox"/> あん摩マッサージ指圧師 <input type="checkbox"/> はり師 <input type="checkbox"/> きゆう師 <input type="checkbox"/> 柔道整復師 <input type="checkbox"/> 理学療法士 <input type="checkbox"/> 作業療法士 <input type="checkbox"/> 視能訓練士 <input type="checkbox"/> 義肢装具士 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士 <input type="checkbox"/> 歯科技工士 <input type="checkbox"/> 救急救命士 <input type="checkbox"/> 社会福祉士 <input type="checkbox"/> 介護福祉士 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉士 <input type="checkbox"/> 言語聴覚士 <input type="checkbox"/> 管理栄養士 <input type="checkbox"/> 栄養士 <input type="checkbox"/> 臨床心理士 <input type="checkbox"/> 健康運動指導士 <input type="checkbox"/> 運動療法士 <input type="checkbox"/> 音楽療法士 <input type="checkbox"/> 医療環境管理士 <input type="checkbox"/> 獣医 <input type="checkbox"/> 医療施設経営・運営・事務 <input type="checkbox"/> 臨床心理士 <input type="checkbox"/> その他( )						

# 日本ポジティブサイコロジー医学会 会則

## 【総 則】

### 第 1 条

本会は日本ポジティブサイコロジー医学会（英文名 Japanese Positive Health Psychology Society）と称する。

### 第 2 条

本会は事務局を株式会社メディプロデュース（東京都港区赤坂8-5-40-513）におく。

### 第 3 条

ポジティブネスという状態が心身、さらには人々の健康にどのような影響を与えるのかを広くディスカッションし、日本におけるポジティブサイコロジーの分野を医療面から牽引する、また、ポジティブネスのサイエンスを広めることを目的とする。

## 【事 業】

### 第 4 条

本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1) 学術集会の開催
- 2) ポジティブサイコロジーに関する最新情報の交換
- 3) ポジティブサイコロジーに関する研究や講習会への助成
- 4) ニューズマガジンの発行
- 5) その他本会の目的達成に必要な事業

## 【会 員】

### 第 5 条

本会の会員は本会の目的へ賛同する各科専門医ならびに研究者、入会には事務局または理事会の承認を必要とする。

## 【会員の義務】

### 第 6 条

会員は年に1度以上の学術集会に参加し、会長の定める会費を納入しなければならない。

## 【会員の権利】

### 第 7 条

会員は次の権利を有する。

- 1) 本会の主催する学術集会へ参加することができる。
- 2) ポジティブサイコロジーに関する最新情報を入手することができる。

## 【役員】

### 第8条

本会には次の役員をおく。

- 1) 理事を若干名おく。理事長、副理事長は理事より選任され、日本ポジティブサイコロジイ医学を代表する
- 2) 理事 若干名

## 【議決機関】

### 第9条

本会の議決機関は理事会とする。

## 【理事会】

### 第10条

理事長および理事は理事会を構成し、会務を執行する。なお、理事会は年1回以上、理事長が招集し、議長となり、次期学術集会会長の選出ならびに学術集会の主題などについての審議を行う。

- 1) 理事会は、理事総数の過半数の出席をもって成立する。
- 2) 理事会の意思決定は、理事の過半数の賛成をもって議決される。

## 【学術集会】

### 第11条

本会は年に1回会員よりなる学術集会を学術集会会長の主催のもとに開催する。

## 【会計】

### 第12条

本会の会計は会費、寄付金およびその他の収入をもって処理する。

## 【会計年度】

### 第13条

本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日で終わる。

## 【会則の変更】

### 第14条

本会則は理事会の議決を経て変更し、会員に「日本ポジティブサイコロジイ医学」ホームページ上にて都度告知するものとする。

## 【付 則】

- 1) 本規則は平成24年7月1日から施行する。
- 2) 年会費は次のとおりとし、平成24年4月1日から施行する。  
理事を含む 個人会員： 4,000円  
賛助会員：200,000円

## 役員名簿

理事長	大野 裕	一般社団法人認知療法研修開発センター 理事長
副理事長	坪田 一男	慶應義塾大学 教授、SFC 研究所ヘルスサイエンスラボ 代表
理事	海原 純子	日本医科大学 特任教授
	小玉 正博	埼玉学園大学 人間学部 学部長
	小林 正弥	千葉大学大学院社会科学研究院 教授
	佐久間 啓	あさかホスピタル 院長
	須賀 英道	龍谷大学保健管理センター 教授
	高橋 英彦	京都大学医学部附属病院 精神科神経科 准教授
	徳永 雄一郎	医療法人社団新光会 不知火病院 理事長
	坂東 真理子	昭和女子大学 理事長
	豊嶋 良一	埼玉医科大学 名誉教授
	堀越 勝	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター センター長
	前野 隆司	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授
	水野 雅文	東邦大学医学部 精神神経医学講座 教授
	三村 将	慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 教授
	宮岡 等	北里大学医学部 精神科学 主任教授

改訂日 2012年11月27日  
改訂日 2012年12月18日  
改定日 2013年9月5日  
改定日 2013年10月18日  
改定日 2013年11月27日  
改定日 2014年11月25日  
改定日 2014年12月19日  
改定日 2016年2月29日  
改定日 2017年3月27日



第7回日本ポジティブサイコロジー医学会学術集会  
プログラム・抄録集

---

発行日：2018年11月□日

事務局：医療法人新光会 不知火病院 地域連携室  
〒836-0004 福岡県大牟田市手鎌1800  
TEL：0944-55-2000 FAX：0944-51-4005  
E-mail：positivepsychology2018@shiranui-byoin.or.jp

出 版：株式会社セカンド  
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025  
<http://www.secand.jp/>